

かがやき



あじさいの会（小物づくり）



芳賀高校球技大会



トットクラブ



安藤勇寿「少年の日」美術館（役員研修）

主な内容

- かがやく町民のつどい
- 芳賀町女性団体連絡協議会総会
- 先進地視察
- 女性模擬議会
- かがやいています
- 小さいこえ、大きい声
- 活動のようす

来年に迫った市町村合併特例法の期限切れを控えて、全国的に合併論議が活発になっている。芳賀町では、小学校の統合により、芳賀北小学校が四月に開校になり、児童数も建物も大きくなった。新しい環境のもとで、のびのびと学び、元気に遊んでいる姿に将来を期待したい。前下高根沢小学校の跡地には、生涯学習センターがオープンした。年齢を問わず気軽に行き、語り、学ぶことが出来る場が出来たことで、更に活動の輪が広がっていくことだろう。

昭和二十九年、一町二村が合併して誕生した芳賀町も、今年の三月には町制施行五十年を迎える。

活動のようす

更正保護女性会



全国規模の更生保護団体として二十万人余の会員が、自発的に自主的に地域性を生かしながら、人間愛と限りない情熱をもって、非行や犯罪のな

い誰もが人間らしく生き生きと暮らせる、明るい社会をめざして活動をしています。時代が変わり急速な社会変化の中で、極悪非道の犯罪が跡を絶ちません。学校や地域団体、人と人が連携し支え合って、誰もが心豊かに生きられる土壌をつくることを、活動目標としております。

- ① 愛の募金 栃木刑務所へブロンズ製の母子像建立
 - ② 地区毎保育施設への子育て支援（お手玉の均等配分）
 - ③ 学童保育への支援
 - ④ 保育園での手伝い
 - ⑤ チューリップ・ユリ球根の販売
 - ⑥ 環境美化運動
 - ⑦ 各種研修会などです。
- （会長 磯エツ子記）

とちぎつばさの会

芳賀支部



昭和五十五年国際婦人年を記念して実施された「婦人の翼」から翌年「婦人の海外研修」として毎年県内各地から三十名程の女性達が海外に目を向けた活動に参加しています。

芳賀町においても、昭和五十六年度より初参加、平成十

五年度にやっと六人目の会員が誕生しました。今までは県レベルの活動が主でしたが、二位前より地域での活動の大切さが重くみられるようになり、昨年より真岡市を含む一市五町の芳賀ブロック内の芳賀支部として活動の単位が明確にされました。支部の活動としては、正にこれから動き出すということです。今年には実現できるかどうかかわかりませんが、男女共同参画社会への訴えを何かの形で示せばと会員で話し合っているところです。（支部長 磯孝記）

編集委員

- | | |
|-------|-------|
| 黒崎 和子 | 菅原 キン |
| 黒崎 幸恵 | 田川 典子 |
| 小林 恭子 | 綱川 知子 |
| 小筆 公子 | 沼能 貴子 |
| 小堀 光子 | 吉永 悦子 |

ご寄稿いただきました皆様ありがとうございました。（委員一同）

第三回 かがやく町民のつどい

平成十五年八月二日(土)
芳賀町民会館ホール
映画鑑賞会



松岡錠司監督
アカシアの道

おかあさん、私、ずっと手をつないで
ほしかった。

夏川結衣・渡辺美佐子出演

と娘の深刻な葛藤がはじまる。そのとき一人の青年が母を連れ帰って「自分の親の面倒ぐらいみろよな。」そのことばに娘はずい分悩んだ。
やがてにくしみから冷静に母の介護へと心が変わり母と娘の絆をとりもどしアカシアの道を歩く姿に安らぎを感じました。家族の愛情がいかに大切であるか考えさせられた。

グループホーム
おおるり台新田
高田 友紀

私は、老人介護の仕事をしています。いろいろな性格のお年寄りの方がおり、おっとりした方と居るとおっとりしますし、楽しく元気のある方と居ると元気が出ます。頑固で気難しい方と居ると、辛く疲れてしまうこともあります。この映画のように、もしこれが自分の親だったらと思うことがあります。
介護も仕事だったら休みがあります。親の介護では休みがないので、果たして自分で親の介護が出来るのか不安になります。

映画を観て

祖母井 小玉千枝子

長寿社会となった現在、死に至るまで健康で自分の生を全うできて、はじめて長寿としての幸福を感じるのではな

いでしょうか。このようなことは誰でも願うことだが、映画のように母親が仕事と子育てで厳しく生きぬき、やがて娘も独立し一人になったときアルツハイマー症という脳の老化によって記憶が徐々に抜けてゆく難病になり家族が予想もしない問題行動を生じ母

入居者の方と楽しく観させていただきました。
アルツハイマー症になってしまった親の介護の辛さがそのまま映画になっていて介護の大変さやアルツハイマー症とはどんなものなのかが、この映画で皆さんに伝わったと思います。

この映画で実際に介護しても気づかなかったことが学べ考えさせられることがたくさんありました。
この映画をもっと多くの人に見てもらえたらよかったと思います。

(医療法人 千秋会)

平成十五年度
芳賀町女性団体連絡協議会
(かがやく女性の会)総会

五月二十四日(土)町民会館研修室において、森町長、小池議長、並びに御来賓の方々のご臨席をいただき、各女性団体から三名の代議員、計五十五名の出席者により、開催いたしました。
総会終了後、綱川みね子さんの海外研修報告会がありました。



芳賀町女性団体及び事務局一覽

役職	氏名	団体名	住所	電話番号
会長	黒崎 幸恵	JAはが野芳賀地区女性会	下高根沢1752	677-1447
副会長	田川 典子	芳賀町商工会女性部	祖母井738	677-0109
〃	小筆 公子	芳賀町くらしの会	東水沼383	677-3966
書記	鈴木 正子	あじさいの会	祖母井1497	677-3965
〃	人見 典子	芳賀町ひばりの会	下高根沢3033	677-3558
〃	大塚 由美	事務局	芳賀町民会館	677-0009
会計	綱川 知子	芳賀町食生活改善推進員会	給部1	677-1200
〃	綱川久美子	農村生活研究グループ	東高橋1303	678-1581
理事	田中ハマ子	芳賀町商工会女性部	西水沼85	677-0023
〃	見目 ミサ	芳賀町食生活改善推進員会	芳志戸1974-2	677-1528
〃	高松 圭子	〃	芳志戸2224-2	677-2166
〃	磯 エツ子	更生保護婦人会	稲毛田1400	677-2414
〃	矢口 マサ	〃	東水沼1535-4	677-1285
〃	黒崎 和子	〃	下高根沢3966-1	677-1121
〃	山本 妙子	JAはが野芳賀地区女性会	上延生1183-2	677-3499
〃	沼能 貴子	芳賀町ひばりの会	下高根沢3717	677-1575
〃	斎藤 芳子	芳賀町ひばりの会	東水沼552-3	677-2352
〃	小堀 光子	芳賀町商工会女性部	祖母井762-2	677-0008
〃	小林 恭子	農村生活研究グループ	下高根沢804	677-1399
〃	大根田富子	〃	下延生1304	678-1308
〃	荒井マサミ	芳賀町くらしの会	与能785-4	677-0284
〃	宇塚 テル	あじさいの会	西高橋2429-1	678-0547
〃	吉永 悦子	〃	祖母井735-1	677-1360
〃	山本恵美子	日本赤十字奉仕団	稲毛田971	677-0257
〃	荒井三津子	〃	東高橋399	678-0638
監事	菅原 キン	〃	下高根沢1044-1	677-0269
〃	岡田 順子	芳賀町くらしの会	西高橋2666-1	678-1155
〃	見目トキ子	JAはが野芳賀地区女性会	東高橋3917-1	678-1240

女性団体名	団体長名	実行委員長	住所・電話番号	プロジェクト	担当事務局
芳賀町商工会女性部	田川 典子 祖母井738 677-0109	田川 典子 田中ハマ子 小堀 光子	祖母井738 677-0109 西水沼85 678-0023 祖母井762-2 677-0008	つどい 研修会 広報紙	商工会 祖母井1080 677-0144 担当者 大嶋 和子
食生活改善推進員会	綱川 知子 給部1 677-1200	綱川 知子 見目 ミサ 高松 圭子	給部1 677-1200 芳志戸1974-2 677-1528 芳志戸2224-2 677-2166	広報紙 研修会 つどい	健康福祉課 芳賀町役場内 677-6042 担当者 岡田 行雄
更生保護女性会	磯 エツ子 稲毛田1400 677-2414	磯 エツ子 矢口 マサ 黒崎 和子	稲毛田1400 677-2414 東水沼1535-4 677-1285 下高根沢3966-1 677-1121	つどい 研修会 広報紙	健康福祉課 芳賀町役場内 677-1112 担当者 押久保友子
JAはが野女性会	黒崎 幸恵 下高根沢1752 677-1447	黒崎 幸恵 山本 妙子 見目トキ子	下高根沢1752 677-1447 上延生1183-2 677-3499 東高橋3917-1 678-1240	広報紙 全体 つどい 研修会	JA支所 祖母井1075 677-0080 担当者 見目美智子 水沼 和子
芳賀町ひばりの会	人見 典子 下高根沢3033 677-3558	人見 典子 沼能 貴子 斎藤 芳子	下高根沢3033 677-3558 下高根沢3717 677-1575 東水沼552-3 677-2352	研修会 広報紙 つどい	町公民館 町民会館内 677-0009 担当者 大塚 由美
芳賀町くらしの会	荒井マサミ 与能785-4 677-0284	荒井マサミ 小筆 公子 岡田 順子	与能785-4 677-0284 東水沼383 677-3966 西高橋2666-1 678-1155	つどい 広報紙 研修会	商工観光課 芳賀町役場内 677-6018 担当者 上野ケイ子
農村生活研究グループ	綱川久美子 東高橋1303 678-1581	綱川久美子 小林 恭子 大根田富子	東高橋1303 678-1581 下高根沢804 677-1399 下延生1304 678-1308	つどい 広報紙 研修会	農政課 芳賀町役場内 677-6047 担当者 山口 悦子
あじさいの会	鈴木 正子 祖母井1497 677-3965	鈴木 正子 宇塚 テル 吉永 悦子	祖母井1497 677-3965 西高橋2429-1 678-0547 祖母井735-1 677-1360	つどい 研修会 広報紙	社会福祉協 祖母井297-1 677-4711 担当者 中村久美子
日本赤十字奉仕団	菅原 キン 下高根沢1044-1 677-0269	菅原 キン 山本恵美子 荒井三津子	下高根沢1044-1 677-0269 稲毛田971 677-0257 東高橋399 678-0638	広報紙 つどい 研修会	社会福祉協 祖母井297-1 677-4711 担当者 阿久津のり子

安藤勇寿 「少年の日」美術館

十二色の鉛筆のミニユメントに迎えられ、杉林の中にある美術館内に歩を進めた。
色鉛筆が描き出す、情感あふれるほのぼのとした色調の世界に思わず目を見張る。

四季おりおりの遊びを楽しむ子等の表情。かぎ吊しの下がっている囲炉裏のある板の間等、懐かしい田舎の情景。襖四枚程の大作をはじめ、大小さまざまな画紙に丹念に描かれており、どの作品からも郷愁が醸し出されている。
観賞後、安藤画伯を囲んで話を伺い、遠いありし日の懐かしい生活を顧み、改めてその美意識を涵養された研修であった。
(吉永 悦子記)



女性活動先進地研修(バルティングためもと交流)

八月二十二日、私たちは、道の駅どまんなかたぬまを訪ねました。定刻より早く着いた私たちを、早速会場へと案内してくださった。

設立して九年。田沼町は、「女性のつどい」から四年目には、「ひと」と「ひと」のつどいに改名し、着実に女性の活動から、性にとられない「ひと」の活動へと推し進めているそうです。

お互いの紹介のあと、交流会の目的の一つでもある会員の脚本(加筆修正)・出演・撮影による寸劇のビデオ「すべてはここから始まる」を見る。初めて出産する不安と期待、第一子は男児と周囲からいわれる重荷、男女平等参画の意識改革へのメッセージの手段として、強く印象に残るものでした。

活動のスタイルは違っても目指すものは同じ。実情、問題点、向上した点等々、活発な意見交換をし、またひとつ他町との横のつながり(情報網)がふえた。(岡田順子記)

芳賀町の皆様と交流

バルティングためもと

会長 蓼沼 芳子

四季のうつろいは早いもので、あれから六ヶ月が過ぎようとしております。

黒崎会長様とお逢いしたのは、「パーティ」の県民のつどいの時でした。昨年は栃木県の男女共同参画推進条例が四月より施行されました。会場での寸劇に共感なされたのではないかと思います。

当町の誇りとする「道の駅どまんなかたぬま」がオープン



して早や二年目を迎え、栃木県下でも一位にランクされております。皆様との交流会もゆつくり寛いで頂きながらという意を込めて設定いたしました。

熱気溢れる日頃の皆様の思いがお互いに交流出来たのではないかと思います。

私達も激動する社会情勢の中で、女性の視点から地域社会と融合し活動を行って行きたいと思っています。

最後に皆様方の益々のご活躍をご祈念申し上げます。又、関係機関の皆様には大変お世話になりました。

栃木ケアーズを見学して

町内にも介護施設を

グループホーム「ほほえみ」を訪問しました。玄関先の大きな水槽に迎えられほっとしました。入居者は二階でエレベーターを使用しほとんどが個室で、明るく水場などの設備もあり、三人の入居者に一人の介護者がつきそっているようです。介護者の暖かい言葉、体を擦り寄せて話しかける様子、談話室には遊具やいたる所に椅子などが備えてあり、休む事も出来るようです。又デサービスセンター「まごころ」もあり、送迎してありました。私も一人暮らし、この施設に入居する料金を聞きました所、一ヶ月十二万円位だそうです。私達の近くにも、こんな施設が出来たらと思う、ホームを後にしました。(宇塚テル記)

芳賀町女性模擬議会開催

第三回芳賀町女性模擬議会は

町長はじめ、生涯学習課、その他多くの方々のご協力を受け、無事終了することが出来ました。十九名の模擬議員は最初は内容を把握出来ず戸惑っていましたが、各自質問事項が決定したころには模擬議員としての自覚も芽生え、当日は堂々と登壇し、しっかりと質問することが出来ました。執行部の答弁に多少物足りなさもありましたが、大変貴重な経験が出来ました。男女共同参画時代といわれていますが、女性が社会に出るには家族や地域社会の理解と協力が必要となつてきます。次回の模擬議会にも多くの方が参加されることを願っています。

(模擬議会議長 稲川弘子)



● 模擬議員名 ●

石下 篤子	小玉一七子
野沢 洋子	篠崎ミネ子
岡田 順子	綱川 有子
福田タカ子	吉田 良枝
黒崎 朱巳	斉藤 芳子
茂木由美子	増渕さつき
小林真智子	水井美和子
小林ゆかり	塩田寿美恵
菊地小百合	稲川 弘子
酒井 由理	

一般質問事項

- ・交通機関の不便さによる交通費の負担と改善策について
- ・未来を担う青少年の育成対応について
- ・家庭の教育の充実について
- ・スクールバスの利用方法と通学路の安全について
- ・祖母井南部都市計画について
- ・芳賀町スポーツ施設の整備充実について
- ・男女共同参画施策について
- ・徹底した「心の教育」を目指して
- ・少子化の子育て支援について
- ・食農教育の推奨について
- ・芳賀南小学校統合による跡地利用について

模擬議会に参加して

祖母井 小林ゆかり

子育てに夢中で、町政や地域に目を向ける時も少ない中で、振り返って見ると、芳賀町に住

んで早や十年余、その間出会った多くの人たちに、励まされ、助けられ、支えられてきました。今回十九名が、第三回芳賀町女性模擬議員委嘱書をいただき、各議員はそれぞれ、大所高所からの質問をしました。私は、女性として、三人の子の親としての立場から、日頃感じていた事をいかに筋道を立てて、質問事項として取りまとめるか頭を悩ませていた折、先輩達の豊富な知識から出てくる助言を受けて「未来を担う青少年の育成について」として、映えある登壇の機会を得る事が出来ました。

質疑中は「冷や汗」が背中を流れましたが、町長さんの心こもった答弁が得られた時は、それは「こちよい汗」となってくれました。その「こちよい汗」を忘れぬうちに、地域の一人としての活動に取り組んで行きたいと考えております。

ががやいています

子供たちに 育てられ



祖母井
阿久津珠江

最近、親と子供絡みの事件が多く報道され心を痛めています。私ごとですが、私は二度の出産で四人の子を授かりました。二度目が三つ子で、周りの人も自分もびっくり、それからしばらくの間の連続でした。近所の人もなり振りかまわぬ母親の私をおばちゃんと間違えていたほどでした。どんな風に子育てをすればよいか悩みまし

たが、まずどの子にも公平であることを第一に考えました。子供たちの顔を見ていると可愛さと親の責任感とで胸がいっぱいでした。子供たちの成長だけを願い奮闘していました。子供たちが大学生になり家を離れていたところ「お母さんは私たちを比較せず、公平に育ててくれて有難う」と言う電話がありました。その一言で私の子育ては報われたと感じました。



いろいろな子育てがあります。私の場合、子供たちに育てられ今の自分があると思っています。そんな自分に「しあわせ」を感じています。

豊かで活力ある男女共同参画社会の実現に向けてより広い視野を持ち地域活動に生かしていく事を目的に、オランダ・フィンランド・フランスを訪問しました。

女性の社会進出先進国の北欧では、さすがと感心する反面、DVや児童虐待など内抱する問題は日本と同じなのだと考えさせられました。また歴史や人とのつながりを大切にしている人達に出会い、今私達に必要なのは、物の豊かさより心の豊かさであると痛感しました。

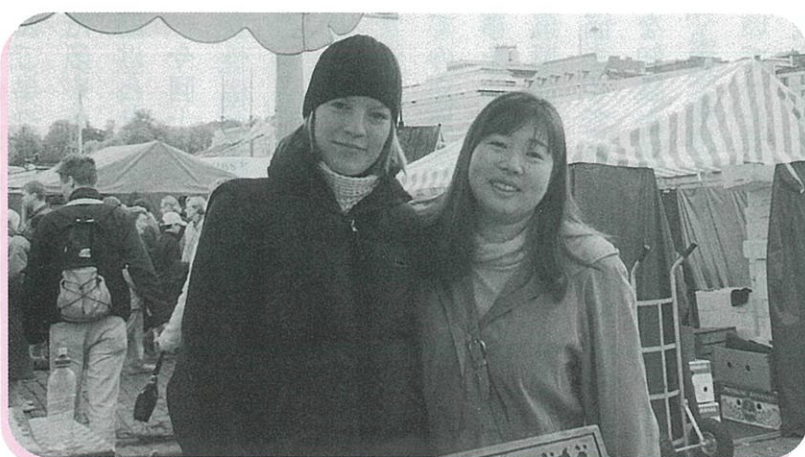
これらの膨大な情報量の研修や視察の中で感じたのは、どんなに有意義な事でも、柔軟な心を持って対応しないと心に響いてこない事です。心に鎧を着て

栃木女性の 海外研修に参加して

祖母井 小山 佳子

いる状態では、自分を見つめる事も、相手を理解して受け入れる事も、変化に対応する事も出来ません。

どんな状況にあっても自分を失わず、柔軟な心で何をすべきかを考える事が出来るよう、これから経験を重ねていきたいと思っています。



小さいこえ 大きい声



下高根沢
黒崎 雅男

いっしょに第九を歌おう！

毎年年末になるとあちこちからベートーヴェンの「第九」のシンホニーが流れてきます。宇都宮第九合唱団も昨年末に第23回目の公演が終わりました。

私は妻と共にこの第九を16年連続で歌い続けております。ではどうしてこのクラシックがこんな途切れることなく長続きしているのでしょうか。団長の言によればこれは、その理由の一つに歌詞がドイツ語だからというのです。「抱き合え」「兄弟になる」「歓び」「このくちづけを全

世界に」など日本語では少し気恥ずかしい言葉が続きます。しかし本当はそれを大きな声で歌いたい。平和や愛を精いっぱい大声で歌いたい。これが第九の魅力の一つだと私も思います。芳賀町のみなさん!!この魅力ある「第九」に一度挑戦してみませんか。



稲毛田
棚橋紗弥加

芳賀高校廃校に思う

私が通っている芳賀高等学校は、ライセンス教育や部活動が盛んで、みんなが生き生きと生活している学校です。

ライセンス教育とは検定取得のことです。授業で各種の検定の勉強をして、学校で検定試験を受けることができるのです。



与能
七井一栄

地産地消について

地産地消とは最近よく言われている言葉です。昨年、芳賀郡市マーケティング協議会に代表として出席しました。当日は芳賀北小の給食を試食し、栄養士より「米・野菜とも町内で栽培した物を利用し

そんな芳賀高校が二〇〇五年に益子高校と合併してしまっています。これを知ったときはすごくショックでした。私が通っていた学校がなくなってしまうことをとても悲しく思います。すばらしい一面を持った芳賀高校がなくなってしまうなんて、「町全体でもう一度話し合っ

ている」と聞いた。午後は友達遊はがで会議となり、ある委員の方から「十品目以上の野菜が使用され栄養の面からバランスの取れた素晴らしい給食である」と感想がのべられた。人間は一日三十品目以上上食することがよいと聞いていますが一般家庭ではなかなか困難なことです。過日、農業新聞に野菜ジュースのことで次のような記事が掲載されていました。「中味は十数種の野菜、果物が入っているがこれでは十分な養分とはいえず、いろいろな野菜を見ながら食べることで、脳と胃袋が刺激され消化吸収がよくなる」ということです。直売所では新鮮・安全・安心をモットーに格安に販売しておりますので地元野菜を利用していただき、地産地消にはずみをつけたいと思っています。